



成人式 おめでとうございます

誕生日が来てる方はすでに20歳になっておられるのですが、成人式を行うというのは、また別な意味で大切なことかもしれませんね。

地方によっては、お盆の時期に済ませるところもありますし、三が日の内に行われるところもあるようです。いずれにしても、人生のひとつの節目として、ご本人はもちろんのことご家族の方にとっても大事な儀式ではないでしょうか。

私たちも、ここまで元気に成長されたことを喜び、ご家族の方の思いを大事にし、これからともに歩いていくことを再確認していかなければならないと考えています。

12日の希望荘の成人式では、学苑の利用者さんが代表で記念品を受け取られました。ちょっと緊張気味でしたが、立派に役目を果たしておられました。

ちなみに、私は自分の成人式には出席していません。朝から寒稽古のかかり稽古20本で祝ってもらい、フラフラの状態です。式場の水前寺体育館前のスーツ・晴れ着姿を横目に、路線バスで通過して帰ったことを思い出します。

インフルエンザが発生しました

利用者さんのご家族から5日の朝、お休みの連絡がありました。その後、病院で検査をされたらインフルエンザということでした。年末年始休み中の罹患ということで、他の利用者さんへの感染は心配ないとは思いますが、手洗い・うがいの励行に努め、広がらないように気をつけていきたいと思えます。事業団の各施設からも、利用者さんと職員と、ちらほらと罹患の報告が上がってきています。



ご家庭の方でも、帰ってきてからの手洗い・うがいにつきましたは、よろしくお願ひします。あわせて、調子がおかしいなあという時には、早めの受診もよろしくお願ひします。



新しい看板を設置しました

20年間、正面玄関の上にかけてあった「熊本市はなぞの学苑」という達筆な毛筆の看板、このたび新しく書き直してもらいました。

平成6年3月、3代目苑長の米村先生が退職される時に書き残された看板です。学苑名が変わった昨年10月の学苑祭の折、「書き直そうかね」とおっしゃってくださいました。それじゃあと、12月のある日に電話でお願いしたところ、次の日には来てくださってスラスラスラ〜っと。

書写には素人の私ですが、とてもやさしさにあふれる字だなあとと思っています。はなぞの学苑も、もっともっとやさしさに包まれた楽しい学苑にしていかなくてはと、改めて思ったところです。また、これから何年もの間、多くの方をお迎えしてくれるのだろうと思うと、うれしさもひとしおです。

事業団からも、新しい外看板をつけてもらっています。柿原公園側の石垣のところに横長の大きな看板と西側の入り口のところに四角の看板をつけてもらっています。地域の方にもわかりやすい白地に黒文字の看板となっています。

